

ほっとアングル Hot Angle



伊予農高生が伊予市のCMを制作



2月5日、ふるさと自慢を30秒のCMで競う愛媛朝日テレビ主催の『ふるさとCM大賞EHIME』が愛媛県生涯学習センターであり、県内20市町から35作品が出品されました。

伊予市からは、伊予農業高校放送部が、市内のさまざまな職業の方に出演してもらった「大切なもの編」と伊予市の元気の良さを演劇仕立てでコミカルに表現した「ドリンク編」の2作品を制作し出品。残念ながら入賞はしなかったものの、審査委員長でコラムニストの天野祐吉さんから、「程よく肩の力が抜け、良い作品になっている。」と評価を受けました。

読書感想文で全国入賞



このたび、『第51回青少年読書感想文全国コンクール』があり、下灘小学校1年の橋本奈実さんが見事入賞。小学生低学年の部において優良作品として「全国学校図書館協議会長賞」を受賞しました。

橋本さんの作品は「おかあさん、ほめてくれるかな」。課題読書として指定されている『ないた』という本をもとに、本の内容と自分自身が経験したことが共感した部分があり、その内容が評価されて今回の受賞となりました。おめでとうございます。

ロータリークラブが善行生徒を表彰

2月8日、伊予ロータリークラブは、少年式を迎えた中学2年生を対象に、日常生活の中で隠れた善行をし、他の中学生の模範となる生徒に対して『善行生徒表彰』を行いました。

表彰には、火災を未然に防ぐなどの勇気ある行動をとった生徒や、清掃活動などの任された仕事を誠実に取り組む生徒など、地道な努力をしてきた伊予市・松前町の中学生10人が選ばれました。なお、伊予市の受表彰者は下記のとおりです。

- ▶【後列左から】仙波大樹さん(港南中)、松本基希さん(伊予中)、井上恭祐さん(中山中)【前列左から】新岡舞さん(中山中)、岡崎佑香さん(伊予中)、中岡干菜美さん(港南中)、宮仲由麻さん(港南中)



伊予市駅伝大会



2月5日、しおさい公園をスタート・ゴールとし、旧伊予市内を一周する『伊予市駅伝大会』が行われ、17チーム（地域の部7チーム、一般の部6チーム、オープン4チーム）が参加しました。

選手たちは、沿道からの熱い声援を受けながら13区間（24.85km）を次々とタスキをつないでいき、熱戦を繰り広げました。

なお結果は、地域の部で「南伊予西」が、一般の部で「じゅくりコトコト煮込んだチーム」が優勝しました。



新春ふれあい将棋教室

1月29日、プロの棋士やアマチュア高段者を招いた将棋教室が彩浜館で開催され、親子連れなどの将棋愛好者約60人が参加しました。指導対局では、勝者に日本将棋連盟普及指導員発行の認定証が送られるとあって、参加者は真剣に将棋盤に向かっていました。初心者には、将棋のルールから教えてもらえる将棋教室もあり、幅広い世代が将棋を通じてふれあいました。



異世代交流音楽活動

1月26日、南山崎小学校で異世代交流を目的とした音楽の授業が行われました。授業には、市内の“おじちゃん・おばちゃん”たちでつくる「いよしわらべ合唱隊」が参加し、子どもたちに合唱指導。「雀の学校」や「めだかの学校」といった大正・昭和時代につくられた歌を子どもたちと一緒に歌い、世代間の交流が図られました。



池ノ久保地区でツバキの保存活動

2月5日、双海町串の池ノ久保地区では、衰弱した市指定文化財の「ヤブツバキ」再生プロジェクト事業を行い、地元の市民約20人が、樹幹開口部の防水対策や枯れ枝の切削と防腐剤の塗布、幹巻きによる皮焼きの防止対策を講じました。今後は、定期的に植物活性剤を注入しながら、樹齢200年を越えるこの「ヤブツバキ」の樹勢回復を見守っていくそうです。



佐礼谷ふるさとまつり

2月5日、『第31回佐礼谷ふるさとまつり』が佐礼谷小学校で開催されました。

保育所、小学校、公民館が一体となり地域挙げてのこのお祭りは、学芸会や趣味グループの発表、出し物といったバラエティーに富んだプログラムで、会場は終始大いに盛り上がり、みんな楽しい一日を過ごしました。